

# 格差を包む信仰

## 映画が描く東南アジアの赦しと救済

2019年11月15日[金] 14:00～20:45 (開場13:30)

国際交流基金 ホール [さくら] 東京都新宿区四谷4-4-1

入場無料 / 予約不要 定員90名

民族や言語、経済状況など、出自や環境によって差異のある人々が共生する東南アジア。

多様な立場の人々が暮らす世界を描いた映画から、  
多様性をどのように理解してともに生きていくかを考えます。

スピーカー： 山本 博之 (京都大学東南アジア地域研究研究所准教授/混成アジア映画研究会 主宰)

橋本 彩 (東京造形大学准教授)

モデレーター：西 芳実 (京都大学東南アジア地域研究研究所准教授)



グブラ  
Gubra

監督：ヤスミン・アフマド  
マレーシア © Nusurbakiti Corporation



アット・ザ・ホライズン  
At the Horizon

監督：アニサイ・ケオラ  
ラオス © Lao New Wave Cinema Productions



民族や言語、経済状況の違いによって人々の間に生まれる壁。  
 東南アジア地域では、多民族・多言語の人々が暮らす社会や、著しい発展の一方で  
 経済格差が進んでいく状況の中で、多様な人々が共生していくための努力が重ねられています。  
 様々な生活環境の下に暮らす人々の関係を下敷きに描かれた東南アジア映画と、  
 それらに向けられる検閲や批判を通して、自らと異なるものを排斥する傾向が  
 強くなっているようにも見える今日の世界の状況とも照らし合わせながら、  
 互いを理解してその壁を乗り越えていく方法、赦しと救済について考えます。

#### 参考上映作品

##### グブラ Gubra

監督:ヤスミン・アフマド  
 マレーシア | 113分 | DVD  
 マレー語・英語・広東語  
 日本語・英語字幕



© Nusanbakti Corporation

マレーシアの地方都市で、つましくも満たされた暮らしを送る宗教指導者の夫婦が、それぞれの家族を守るために身をひさぐ2人の女性に寄り添おうとする。マレーシアでの公開時には、型破りなイスラム教の指導者像が一部の批評家から激しく攻撃された。(物語の一部は同監督の『細い目』(10月11日から全国で順次公開)の続編にあたります。)

##### アット・ザ・ホライズン At the Horizon

監督:アニサイ・ケオラ  
 ラオス | 101分 | DVD  
 ラオス語  
 日本語・英語字幕



© Lao New Wave Cinema Productions

経済成長が著しいラオスの首都ヴィエンチャンにおける格差問題を2つの家族から描いた作品。父親の権力を背に傍若無人に振る舞う青年シンと、障がいを持ちながらも家族と幸せに慎ましく暮らすラットは、ある事件をきっかけに互いの人生に深く関わっていく。検閲の厳しいラオスにおいて、現代社会の問題に鋭く切り込んだ監督のデビュー作。

#### スピーカー



**山本 博之**  
 Hirokyu Yamamoto  
 京都大学  
 東南アジア地域研究所  
 准教授

専門は東南アジア地域研究/メディア研究。マレーシア・サバ大学、在インドネシア・メダン総領事館などでの勤務を経て現職。編著書に『マレーシア映画の母 ヤスミン・アフマドの世界人とその作品、継承者たち』(英明企画編集、2019年)など。混成アジア映画研究会主宰。



**橋本 彩**  
 Sayaka Hashimoto  
 東京造形大学  
 准教授

専門はスポーツ人類学、ラオス地域研究。ラオスの伝統的スポーツの歴史・文化研究に従事。編著書に『スポーツ人類学の世界』(虹色社、2019年)。ラオス映画に関する研究では、「若手映画人によるラオス映画の潮流」(『混成アジア映画研究2015』所収)などを執筆。混成アジア映画研究会メンバー。

#### モデレーター



**西 芳実**  
 Yoshimi Nishi  
 京都大学  
 東南アジア地域研究所  
 准教授

専門はインドネシア地域研究。主な研究関心は災害・紛争などの災厄の語り継ぎ・語り直し。1997-2000年にインドネシア・アチェ州に留学。著書に『災害復興で内戦を乗り越える—スマトラ島沖地震・津波とアチェ紛争』(京都大学学術出版会、2014年)など。混成アジア映画研究会メンバー。

#### 関連書籍のご案内

参考上映作品や東南アジア映画についてより深く知っていただける関連書籍を当日会場でもお求めいただけます。

『マレーシア映画の母 ヤスミン・アフマドの世界』  
 編著:山本博之  
 価格:2,500円(税抜) 体裁:A5判、480ページ  
 出版社:英明企画編集

『躍動する東南アジア映画 多文化・越境・連帯』  
 編著:石坂健治、夏目深雪 / 編集協力:国際交流基金アジアセンター  
 会場特別価格:2,000円(税込) 体裁:A5判、192ページ  
 出版社:論創社

#### プログラム

- 13:30 開場
- 14:00 開会ご挨拶・当日のご案内
- 14:15 参考上映 映画『グブラ』
- 16:15 休憩
- 16:30 シンポジウム  
 「罰するのは誰かー契りと定め」山本 博之  
 「来世につなぐ功德と赦しー社会悪とカルマ」橋本 彩
- 17:10 パネルディスカッション・Q&A
- 18:40 休憩
- 19:00 参考上映 映画『アット・ザ・ホライズン』

#### 混成アジア映画研究会

混成アジア映画研究会とは、混成(混血と越境)を鍵として、アジアの映画を観て愉しむとともに、アジア映画を題材にして監督・製作者の想いやアジア社会が抱える課題を考えることを通じて、アジア映画の「おもしろさ」を共有し、映画を介してアジア社会について理解を深めることを目的とする研究会です。



website:  
<https://u.kyoto-u.jp/wco7y>

#### 国際交流基金アジアセンター

独立行政法人国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、全世界を対象に総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の専門機関です。アジアセンターは2014年4月に設置され、ASEAN諸国を中心としたアジアの人々との双方向の交流事業を実施・支援しています。日本語教育、芸術・文化、スポーツ、市民交流、知的交流等さまざまな分野での交流や協働を通して、アジアにともに生きる隣人としての共感や共生の意識を育むことを目指しています。



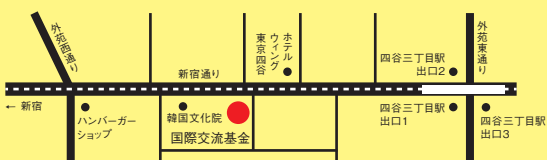
website:  
<https://jfac.jp/culture/>



Facebook:  
<https://www.facebook.com/jfac.film/>



Twitter:  
[@jfasiacenter](https://twitter.com/jfasiacenter)



国際交流基金  
 東京都新宿区四谷4-4-1 東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅から徒歩3分

お問い合わせ: [jfac\\_film@jpf.go.jp](mailto:jfac_film@jpf.go.jp)

担当:国際交流基金アジアセンター 文化事業第1チーム 山野